

	シーズ名	文学と宗教の関係に関する研究、宗教間対話に関する研究
	氏名・所属 等	小手川巧光・保健医療経営大学・准教授
<p><概要> 文学は宗教的寓話から一般大衆文学まで宗教との関係は様々であるが、ありとあらゆる文学が人生の意味や価値と無関係なものではなく、その点で宗教の抱える問題が物語や詩という形で文学には満載されていると言える。宗教（信仰）の抱える問題の中には、「痛みの問題」や「排他性と受容性」のような理論的に論証する形では答えを得にくいものも多々あるが、その暗示を文学の中に求めることができると考え、特にイギリスファンタジー文学（『ナルニア国物語』『指輪物語』『ハリーポッターシリーズ』など）を文脈研究・作家研究を深めながらそれらの答えを探るのが目的である。</p> <p><アピールポイント> 上記のファンタジー三作品は、いずれもイギリスのみならず世界のベストセラー文学と言える。日本でもよく読まれ、親しまれている。また、三つとも映画化されるなど、話題性も高い。そのような作品を題材を中心にこれまで研究を続けてきたが、今後、それらの一つ一つのシーンを取り上げながら、宗教上の問題を深くえぐり出し、多くの人の抱える人生上の問題解決のヒントを提示できたらと考える。</p> <p><利用・用途・応用分野> 文明の衝突によって引き起こされる問題が今日の世界の最も憂うべき状況を作り出していると言えるが、キリスト教・イスラム教・仏教といった世界宗教をそれぞれに優れた文学を有しており、それらの文学には必ず相違を乗り越えるための深い思想が語られているはずである。キリスト教を背景としたイギリスファンタジー文学という一つの狭い領域の研究であるが、他の宗教の文学にも応用可能であると信じる。例えば、日本では最も信徒数が多いと言われる浄土真宗は他力本願という点でキリスト教と非常に類似した教義を持っており、五木寛之氏の近著『親鸞』には、上記のような『排他性と受容性』の問題に対する重要な示唆がちりばめられている。</p> <p><関連するURL></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一神教学際研究センター」 http://www.cismor.jp/jp/ ・「宗教間対話研究所」 http://www.interfaithdialog.org/ ・Welcome to J.K.Rowling's Website http://www.jkrowling.com/ ・One Wiki to Rule Them All http://lotr.wikia.com/wiki/Main_Page <p><他分野に求めるニーズ> 『宗教的排他性と受容性』についての文学的な示唆が、宗教間対話や宗教社会学にプラスの影響を少しでも及ぼしうることを望む。 逆に、各宗教内における神学教育のなかに宗教文学研究の入り込む余地が醸成できればよいと考える。</p>		
キーワード	ファンタジー・宗教文学・宗教間対話・文明の衝突	